

< 明治学院大学・オンライン講義 >

児童養護施設との里山開拓

～コロナ時代の心豊かな生き方とは～



2021年6月23日

NPO法人
東京里山開拓団



自己紹介

堀崎 茂（ほりさき しげる）

- ・ 1971年生まれの50歳
- ・ 東京里山開拓団・代表&山林地主
- ・ DIY好きの2児の父、週3勤務の会社員、
マインドフルネス講師、個人投資家の顔も
- ・ 忙しい現代都市社会にて心豊かな暮らしや
社会を取り戻すにはどうしたらいいか
自分を実験台に試行錯誤中



NPO法人東京里山開拓団

■ 目指す所：**荒れた山林の開拓と自然の恵みの活用**を通じて
現代都市社会の抱える課題の克服に貢献する

■ 活動の柱：**児童養護施設との里山開拓**

3施設（救世軍機恵子寮／調布学園／星美ホーム）と実施

里山開拓（月1回）、準備会議（月1回）、研修合宿（年1,2回）

施設訪問（年2回）、活動報告会（年1回）、懇親会（年2回）など

■ メンバー：会員**25名**（会社員、主婦、大学生**20～40代**）

他、学生支部Enpentas20名、サポーター、連携団体、助成団体

■ 略 歴：2006年里山着手、2009年設立、2017年NPO法人化



荒れた山林 × 児童養護施設 = ?

現代都市社会のひずみを解く奇跡の方程式





環境大臣賞 最優秀賞

第8回グッドライフアワード

厚生労働省 子ども家庭局長賞

第8回健康寿命をのばそうアワード



NPO法人

東京里山開拓団






荒れた山林

所有者不明の山林 100万ha

林業崩壊、不在地主化等で荒れた山林が増加
獣害、土砂崩れ、不法投棄等の被害が深刻化



子どもの虐待・貧困 児童養護施設で暮らす児童 3万人

対象児童が急増し社会問題化
心のケアや18歳退所後の自立支援に課題

遺棄致死の疑い 両親を逮捕

東京都目黒区で約4歳の男の子が死亡した事件で、遺棄致死の疑いで両親が逮捕された。事件は今年1月に目黒区で発生し、引きこもり状態の両親が、男の子を自宅に閉じ込めたまま、約2週間経過後に発見された。男の子は重度の脱水と栄養不足で死亡したと見られる。両親は「遺棄致死の疑い」で逮捕された。男の子は約4歳で、身長は約100センチ、体重は約15キロと推定されている。両親は男の子を自宅に閉じ込めたまま、約2週間経過後に発見された。男の子は重度の脱水と栄養不足で死亡したと見られる。両親は「遺棄致死の疑い」で逮捕された。

改正児童福祉法などのポイント

体罰の禁止

- 親らが「しつけ」として体罰を行うことを禁止
- 民法の懲戒権のあり方を、改正法施行後2年をめどに検討

児童相談所の体制強化

- 一時保護などを担う職員と保護者支援を行う職員を分ける
- 医師と保健師を配置
- 弁護士による助言・指導を常時受けられる体制に
- 相談件数などに応じて児童福祉司を増やす

子どもの安全確保

- 学校・児童福祉施設の職員らに児童の秘密を守る義務
- 配偶者暴力相談支援センターなどは児童虐待の早期発見に努める
- 虐待をした保護者への再発防止プログラム実施を見相などの努力義務に
- 子どもの転居時、見相間の情報共有を徹底

6 そのほかの なやみや そうだんしたいことが あったら、なんでも かいて ください。

お父さんにぼくを受け付けています。夜中に起こされたり走らされているときにけられたりたたかれたりしています。先生、どうにかできませんか。

パパママ おねがいゆるして

ノートに「謝罪」つづる

「おねがいゆるして」という言葉が、おねがいを求めている子どもを救う。おねがいを求めている子どもは、おねがいを求めている。おねがいを求めている子どもは、おねがいを求めている。おねがいを求めている子どもは、おねがいを求めている。

朝日新聞 2019年6月19日

事件の経緯

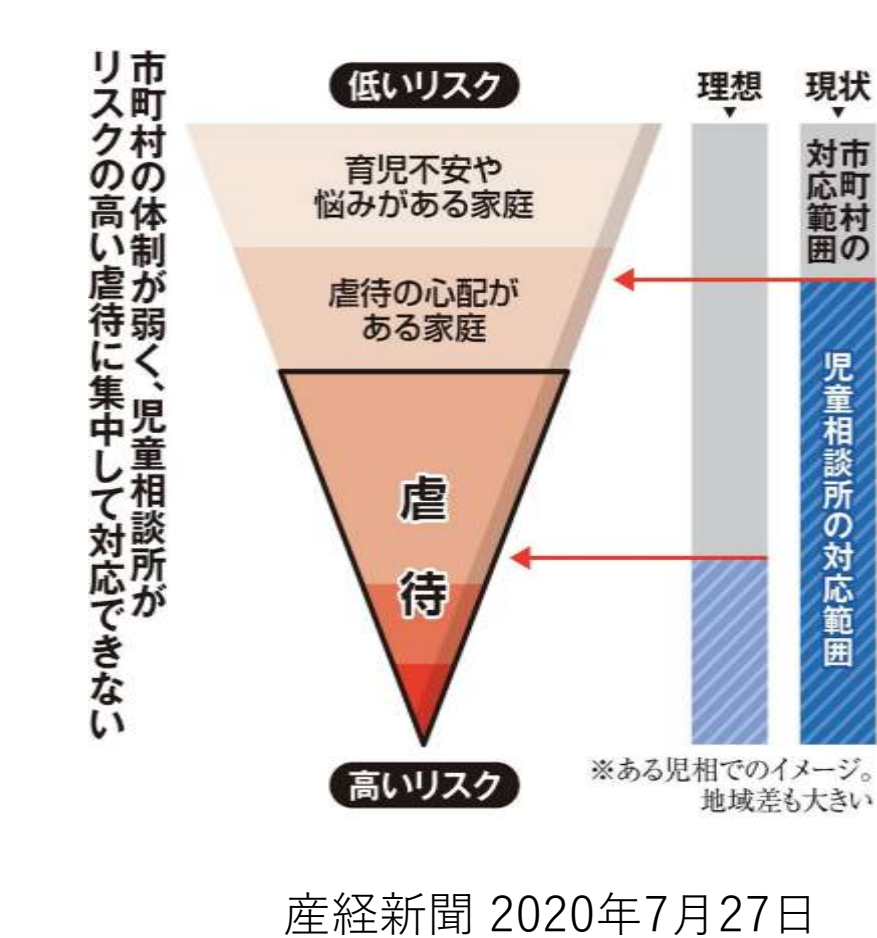
2016年	9月	香川県高松市の自宅で(当時)で結愛ちゃんが大泣きしているとの情報。児童相談所の定例訪問開始
	12月	結愛ちゃんが外でうずくまっているのを近隣住民が発見。児相が一時保護
17年	2月	香川県警が結愛ちゃんへの傷害容疑で重大容疑者を書類送検。児相が一時的保護を解除
	3月	児相が結愛ちゃんを2度目の一時保護
	5月	県警が重大容疑者を再び書類送検(いずれも不起訴)
	7月	2度目の一時保護が解除される
18年	1月	一家で東京都目黒区での生活開始。男の子が品川児相に情報を引き継ぐ
	2月9日	品川児相が家庭訪問。結愛ちゃんの容は健康で必ず
	3月2日	重大容疑者が119番通報。結愛ちゃんは搬送先で死亡
	3日	香川県が重大容疑者を傷害容疑で逮捕
	23日	東京都検が重大容疑者を傷害罪で起訴

朝日新聞 2018年6月7日

川J.com 2020年11月18日



川J 2019年2月2日



①児童養護施設との里山開拓

児童養護施設の子どもたちと荒れた山林を伐り拓き、
里山の恵みを活かして自ら「ふるさと」を創り上げる活動。
2012年以降、東京・八王子の山林での開催回数は67回、
子ども参加数はのべ400名。
施設職員・会員による合同研修も実施



環境保全と児童福祉の一石二鳥

東京里山開拓団は
荒れた山林の開拓と自然の恵みの活用を通じて
現代都市社会の抱える課題の克服を目指します

子どもと自然遊びする

ボランティア？

環境保全

自然は直接反応がなく
やる気が持続せず
自己満足に終始しがち

子どもたちの力で
自然と人が共存できる
ふるさとづくり継続！

子ども支援

子どもの心を開けるかは
個人の力量に依存
一時支援にとどまりがち

里山の力で
初対面でも心全開！
退所後も参加！

児童養護施設との里山開拓

① 児童養護施設との里山開拓

児童養護施設の子どもたちと荒れた山林を伐り拓き、里山の恵みを活かして自ら「ふるさと」を創り上げる活動。2012年以降、東京・八王子の山林での開催回数は68回、子どもの参加数はのべ400名超。施設職員・会員向けの里山研修も実施



② 企業向け里山研修事業

都心から1時間・3密を回避できる里山で企業の研修や会議開催を支援する自主事業。社会貢献体験、チームワーク、メンタル対策のプログラムもアレンジ。収益で本活動全体を促進、施設退所者も運営参加



④ 全国の里山地図サイト運営

里山関連のニュースを地図上に集約し全国で近くの里山を探せるサイト「日本ノ里山ヲ鳥瞰スル」を運営。掲載件数は千件を超え全国随一。将来は山林とボランティアをつなぐ情報基盤へ



③ 大学生による施設訪問

学生支部の大学生が施設訪問やオンラインを通じて子どもたちと交流。遊び相手や学習支援、里山企画検討など。子どもたちとの距離が近くなり、里山活動の価値もさらに向上



私たちの活動展開

「新たな里山開拓」「学生による施設訪問」
「里山研修事業」「全国の里山地図サイト」へ展開中

菅生学園の里山開拓

2021.5
東京里山開拓団



児童養護施設の子もたちと荒れた山林を伐り倒してふるさとづくり

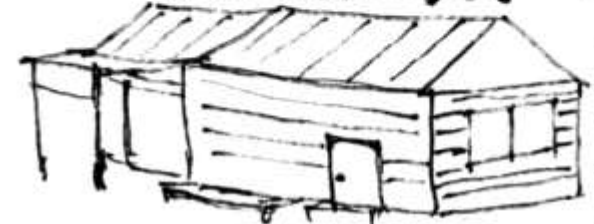
子どもたちのチカラで里山保全 & 里山の子カラで児童福祉



① オオタカ広場

② タヌキ広場

ボランテアハウス

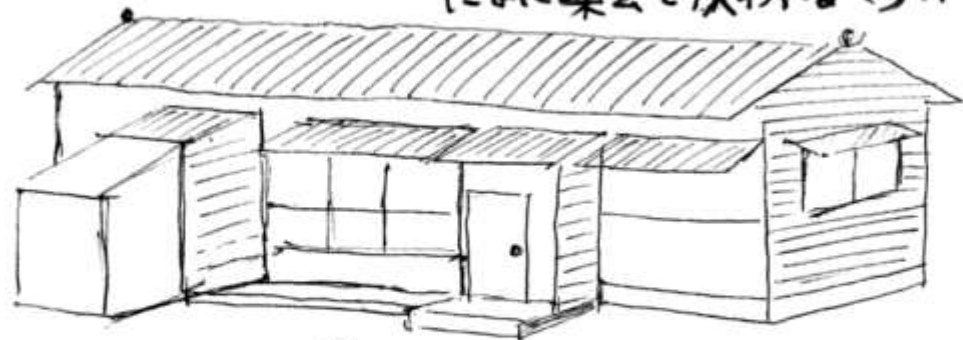


- 施設から10人週末お泊まりを予定
- ・パンキ塗り
 - ・タタミ・じゅうたん設置
 - ・サッシ交換
 - ・トイレ・フロ修繕
 - ・ゴミ処分
 - ・道具整理、リストUP
 - ・草刈
 - ・予算確保
 - ・地盤調整

山雉とり(キイチゴ、ワサビ、ウド)
いっいっ サンショウ...

Before

築ウン十年の木造平屋
たまたま集会で使われるくらい



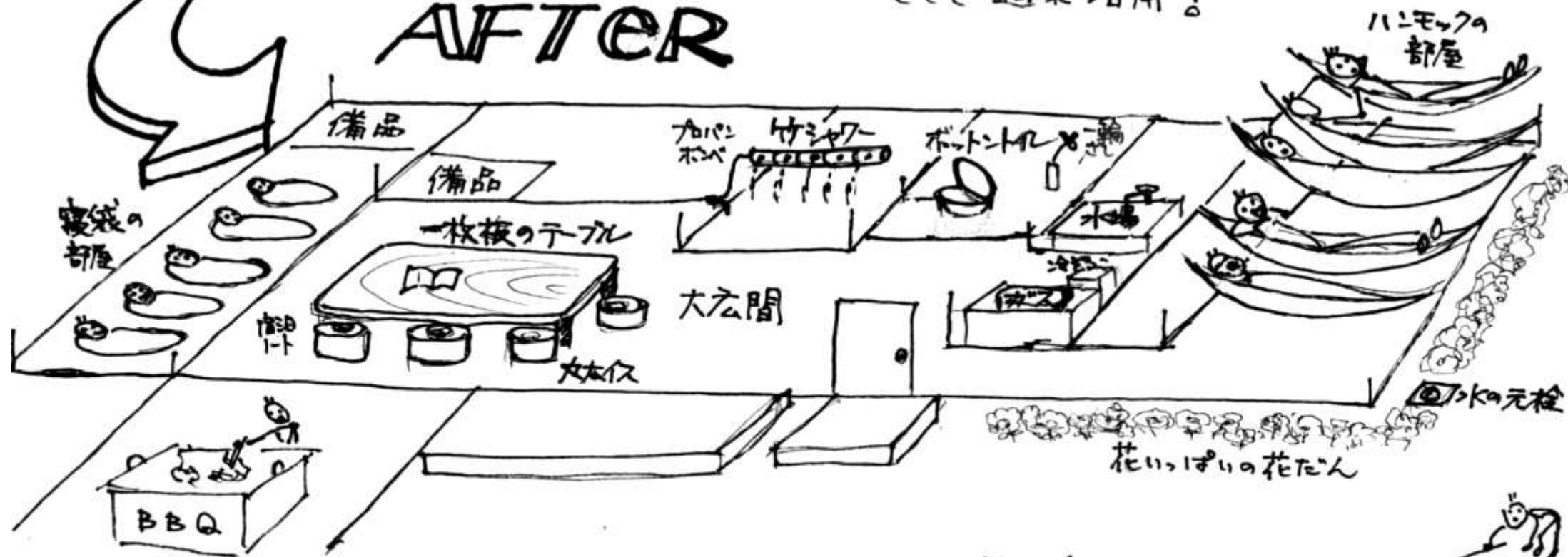
菅生ボランティアハウス

大リフォーム計画

- 児童養護施設の里山付別荘
- 里親さん向けの里山付貸別荘
- 施設職員のための里山付研修施設

として週末活用!

AFTER



2021.5 東京里山開拓団

目の前は魚いしほいの小川

Before



After



みなさんにとって
豊かな暮らし・社会とは？
どうしたら実現できる？

環境白書 ～「地域循環共生圏」を目指す取組みとして～

第3章 地域や私たちが始める持続可能な社会づくり

持続可能で強靱な地域づくり～地域循環共生圏（ローカルSDGs）～

森里川海を守りながら活かし、自然と共生する、自立分散型の社会こそ持続可能であることを再認識。地域循環共生圏は、環境問題を経済・社会にも内包しつつ統合的に対応する観点で世界からも評価。

- 地域循環共生圏は、地域資源を活用し、環境・経済・社会を良くしていく事業を生み出すとともに、例えば都市と農村のように地域の個性を活かして地域同士で支え合うネットワークを形成していくという、「自立・分散型社会」を示す考え方。
- 環境・経済・社会を統合的に対応する点で、2019年6月のG20関係閣僚会合をはじめとした国際会議の場などにおいて、海外からも評価。
- 環境省では、地域循環共生圏の取組を進めるため、以下の取組を実施
 - ・地域循環共生圏づくりプラットフォームを通じた各地での支援
 - ・グッドライフアワードを通じた各地で実践される行動の発信



【第8回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞】
荒れた山林を児童養護施設の子供たちと伐り拓いて里山づくり（NPO法人東京里山開拓団）

児童養護施設の子供たちと共に、東京周辺の荒れた山林を手作業で伐り拓きつつ、自然の恵みを生かしてふるさとを作り上げており、里山保全と児童福祉の両輪の活動を行っている。



（資料：NPO法人東京里山開拓団）